

2022年12月 1 日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社  
代 表 者 名 代表取締役 武内 博文  
(コード番号：4579)  
問 合 せ 先 取締役 須藤 正樹  
(TEL. 052-446-6100)

### Ikena Oncology, Inc. によるEP4拮抗薬の自社開発中止のお知らせ

このたび、当社の導出先である株式会社AskAt（本社：愛知県名古屋市長古市、代表取締役社長：古田晃浩、以下「AskAt社」）は、当社がAskAt社に導出したEP4拮抗薬（化合物コード：IK-007/AAT-007/RQ-00000007、一般名：grapiprant、以下「grapiprant」）につきまして、サブライセンス先であるIkena Oncology, Inc（本社：米国・マサチューセッツ州、以下「Ikena社」）が自社での臨床開発を中止し、戦略的な代替計画を検討することを発表したことを公表しました。また、本件とあわせて、Ikena社は、2018年10月より実施していた切除不能または進行性マイクロサテライト安定型大腸がん患者を対象としたgrapiprantとペムプロリズマブ（キイトルーダ®）との併用試験の結果を 2022 European Society for Medical Oncology Immuno-Oncology Congressにて報告することを発表しました。

なお、本件は、東京証券取引所の規則に定める適時開示には該当いたしません、有用な情報と判断したため、任意開示いたします。

当社は、2013年1月、AskAt社との間でgrapiprantに関する権利売買契約を締結しております。当該契約に基づき、当社はgrapiprantに関する知的財産権をAskAt社に譲渡するとともに、AskAt社がgrapiprantにより得る収益の一定料率をロイヤルティ収入として受領する権利を取得しました。2017年12月、AskAt社はArrys Therapeutics社（本社：米国、以下「Arrys社」）との間で、がん免疫領域を対象とした、中国および台湾を除く全世界の権利にかかるライセンス契約を締結し、その後、Arrys社から権利を引き継いだIkena社が第I相臨床試験を実施しております。

なお、2021年9月に開始された転移性の炎症性乳がんに対するgrapiprantとエリブリン（ハラヴェン®）との併用の効果を検討する医師主導治験（テキサス大学MD アンダーソンがんセンター・上野直人教授）は継続中です。このほか、AskAt社は、Ningbo NewBay Medical Technology Development Co., Ltd（本社：中国）および3D Medicines Co., Ltd.（本社：中国）との間で、grapiprantに関するライセンス契約を締結しております。

本件による当社業績への影響につきましては、2022年11月17日に公表した2022年12月期（2022年1月1日～2022年12月31日）の通期連結業績予想および「事業計画および成長可能性に関する事項（2022年12月期～2024年12月期）中期経営計画2022-2024」に変更はございません。

当社は今後も引き続き、AskAt社との連携をより強固にし、開発支援並びにサブライセンス契約支援を継続して実施して、患者さまのQOLの向上に一層貢献できるよう努めてまいります。

以 上

<ご参考>

AskAt 社および Ikena 社の発表につきましては、両社のウェブサイトをご覧ください。

AskAt 社発表：<https://askat-inc.com/japanese/news/detail/?jpnewsid=708>

Ikena 社発表（英語）：<https://ir.ikenaoncology.com/news-releases/news-release-details/ikena-oncology-announces-new-program-next-generation-mek-raf>